

令和6年9月5日

東部農林水産振興センター雲南事務所農業部

標 題	「飯南担い手協議会」が設立されました！ ～町内別々の協議会が合併し、ひとつになりました～
-----	---

(ダイジェスト)

これまで飯南町では、2つの担い手協議会がそれぞれ活動していましたが、これらを合併し、飯南町一丸となった営農体制の構築を目的とした「飯南担い手協議会」が設立されました。新組織には、3つの部会が作られ、部会活動を起点とした地域農業の維持・発展に向けた活動が期待されます。

飯南町では、旧頓原町、旧赤来町の各区域において、頓原集落営農組織連絡協議会と赤来担い手連絡協議会の2つの担い手協議会がそれぞれ活動していました。

昨今、農業を取り巻く状況は、農業従事者の高齢化に伴う担い手不足、農地集積に伴う面積拡大など、農業者にとって、多くの不安や課題があります。これら課題に対応するため、昨年11月から、両担い手協議会の役員が合同で検討を始め、新組織設立に向けて協議を重ねてきました。

そして、7月27日（土）に飯南町一丸となった営農体制の構築を目的とした「飯南担い手協議会」が設立されました。

新組織は、構成員39名でスタートしました。3つの部会が組織され、認定農業者部会では、受託作業の調整や農地の調整と集積の支援等、認定農業者の抱える問題の解決方法を検討します。集落営農法人部会では、認定農業者と法人間の相互扶助体制や広域連携、後継者の育成について検討を進めます。転作部会では、大豆、ソバ等の受託作業・機械利用の調整や耕畜連携に関する検討を行います。部会活動を起点とした地域農業の維持・発展に向けた活動が期待されます。

農業部では、今後も関係機関と連携し、地域を守り、集落を維持する取り組みを支援していきます。



写真：設立記念写真